第24期 りそなグループ 報告書
（2024年4月1日～2025年3月31日）

Realizing
"Retail No.1"

りそな Today

2024.4.1 ▶ 2025.3.31

INDEX

Top Message……01
りそなグループが長期的に目指す姿/
りそなの1年（2024年度）……03
『リテールNo.1』の実現に向けて……05
りそなグループの機能・サービスで、
日本全国のお客さまの未来をプラスに!……07
万博で中小・スタートアップ企業の技術を発信し、
未来にワクワクをプラス!……09
りそなグループの業績……11
グループ銀行の概況／株主メモ……14
株主さまアンケート実施のご案内／
株主さまの個人情報のお取扱いについて……裏表紙

株式会社りそなホールディングス
RESONA

「リテール No.1」の実現に向けて

株式会社りそなホールディングス
取締役兼代表執行役社長
兼グループCEO
南 昌宏

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年3月期の日本経済は、様々な課題を抱えながらも、総じて緩やかな回復基調を辿り、金融政策の正常化に向けて慎重に動き出した1年となりました。

こうしたなか、2025年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、2,133億円（前期比+543億円）となりました。資金利益とフィー収益の「双発」により、業務粗利益が拡大するなか、政策保有株式の売却が進展し、与信費用も低位に推移したことから、最終利益は7期振りに2,000億円を超える着地となりました。不良債権比率は1.17%、自己資本比率は12.79%と、引き続き、健全な水準を維持しています。

2025年3月期は、普通株式1株当たりの年間配当金を3円増配の25円とさせていただくとともに、年間約400億円の自己株式取得を実施しました。

2026年3月期における普通株式1株当たりの年間配当金予想は、4円増配の29円とさせていただきました。また、2025年5月14日～同年7月31日までを取得期間とする300億円（上限）の自己株式取得枠も設定しております。今後も、健全性、収益性とのバランスや成長投資の機会を考慮しつつ、株主還元の拡充に努めてまいります。

改めて、過年度は、金融政策の転換が図られるなか、国内預貸金利益を中心とする資金利益の再興と、お客さまのこまりごとを起点とするフィー収益の拡充が業績を牽引しました。今年度も、こうしたよい流れを引き継ぐとともに、時代の変化を見据えた新たな挑戦にも取り組んでまいります。

また、本年1月には、みなと銀行のシステムリニューアル（事務・システム統合）が完了し、みなと銀行のお客さまにおかれましても、りそなグループのすべての機能・商品・サービスをご利用いただける体制が整いました。

今後も、「金融+で、未来をプラスに。」というパーパスのもと、「ワンプラットフォーム・マルチリージョナル戦略」を進化させながら、お客さまのこまりごと、社会課題の解決に向けて全力を尽くす金融グループでありたいと考えています。

引き続き、皆さま方の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

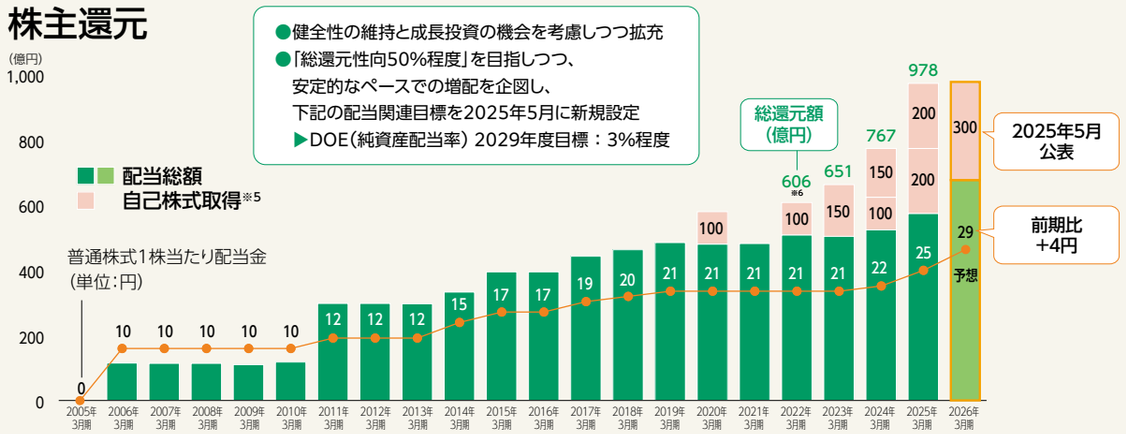
中期経営計画の主要経営指標

		2024年度（実績）	2025年度（計画）	2025年度（中計）
収益・コスト構造改革の実現 健全性、成長投資と株主還元の最適化	親会社株主に帰属する当期純利益	2,133億円	2,400億円	1,700億円
	連結コア収益※1	1,757億円	1,860億円	1,800億円
	連結経費率	64.2%	59%程度	60%台前半
	株主資本ROE※2	9.3%	10%	8%
	普通株式等Tier1比率※3	10.18%	10%程度	10%台
	総還元性向	45.8%	50%程度	50%程度
持続可能な社会の実現	GPIF選定ESG指数（国内株）※4	すべてに採用	すべてに採用	すべてに採用

【2025年度(計画)前提条件 政策金利(円):0.50%】

※1 国内預貸金利益+円債利息等+フィー収益+経費、2024年度はりそなリースの経費△48億円を除く実質ベース、「経費」は利益をマイナスする項目 ※2 親会社株主に帰属する当期純利益÷株主資本（期首・期末平均） ※3 国際統一基準、バーゼル3最終化・完全実施、その他有価証券評価差額金除き ※4 FTSE Blossom Japan Index、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index、MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数（2022年度まで）、MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数（2023年度以降）、S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数、MSCI日本株女性活躍指数、Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

株主還元



※5. 自己株式取得額は億円未満を四捨五入
※6. 2021/5～6月に、関西みらいフィナンシャルグループ完全子会社化に伴うEPS希薄化影響中立化のため、409億円(8,800万株)の自己株式取得を実施

りそなグループが長期的に目指す姿

2003年 公的資金注入
2015年 公的資金完済
変革のDNA
2023～2025年度
中期経営計画「リテールNo.1実現への加速」
持続的に社会価値・企業価値を向上

CX※に取り組む最初の1,000日
～「再生」から「新たな挑戦」へ～
※これまでのビジネス構造・経営基盤を変革するコーポレートトランスフォーメーション

長期ビジョン「リテールNo.1」
お客さまにもっとも支持され、ともに未来へ歩み続けるソリューショングループ

パーパス
金融＋で、未来をプラスに。

りそなの1年（2024年度）

中期経営計画の2年目となった2024年度は、みなと銀行のシステムリニューアルをはじめ、各銀行による地域特性に応じた最適なソリューション提供等に挑戦し、「リテールNo.1」実現へ向けて取り組んでまいりました。

2024年 5月

「りそな コエドテラス」の開業

埼玉りそな銀行は、文化財となっていた埼玉県川越市の旧銀行店舗を「りそな コエドテラス」として開業しました。地域企業と連携した新たな産業の創出や、起業家育成、地域の食材を扱うカフェやレストラン等を通じた川越、埼玉のブランド発信等、暮らしを豊かにする拠点として活用されています。

2024年 7月

「B.LEAGUE」タイトルパートナーに就任

りそなグループと国内男子プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE」は、地域社会を元気にしたいという想いで共鳴しています。

©B.LEAGUE

©B.LEAGUE

各クラブ、ファン、地域や他のパートナー企業と共創し、地域社会の発展とリーグの盛り上げにつなげていきます。

2025年 1月

心斎橋ビル（旧関西アーバン銀行本社）を商業ビルへ

関西みらい銀行は、地域の活性化とにぎわいの創出を目的に新設された特定目的会社に心斎橋ビル（旧関西アーバン銀行本社）を売却し、優先出資を行いました。本特定目的会社は既存建物を解体後、ブランドショップを誘致し、商業ビルを開業する予定（2028年末頃）です。関西みらい銀行は引き続き大阪のシンボルストリートである御堂筋沿道を次世代に向けて再生・発展させ、大阪・関西の成長に貢献していきます。

開業イメージ

2025年 1月

みなと銀行のシステムリニューアル

みなと銀行は、りそなグループが有する高品質な商品・サービスを提供するため、システムの全面リニューアル（事務・システム統合）を実施し、りそなグループのシステム基盤と共通化しました。

VOICE

「人とのつながり」を大切にし、兵庫県の活性化に貢献していきたい

▶「統合推進室※」勤務時の想いは?

「失敗してはいけない」という責任の重さを感じていましたが、みなと銀行のお客さまのためにどうしたら良いのか、りそなグループが一丸となって考える姿勢があったことが大変心強かったことを覚えています。本気で議論できたことで、単なるシステム基盤の共通化ではなく、みなと銀行のお客さまのための進化を果たすことができたと感じています。

▶システムリニューアル後のみなと銀行のお客さまの反応は?

現場でお客さまと接する中で、アプリの入れ替えや通帳繰越など、ご負担をお掛けしてしまうこともありました。一方、「使いやすくなった」「先進的」といったポジティブな声も多くいただきました。また、これからさらに便利になっていくという期待感も持っていただいていると感じています。

▶兵庫県の未来をどのようにプラスにしたいか?

私は子どもの頃から人と関わることが好きでした。銀行員として地域の方と接する仕事を選んだのは、「人とのつながり」を大切にしたいという想いがあったからです。兵庫県は地場産業が盛んな地域です。ただ、世の中の環境が変化する中、後継者不足や市場の縮小など伝統的な産業が抱える課題は多いと感じています。お客さまとのつながりを大切にし、対話の中でニーズを正しく見極め、兵庫県の活性化に貢献していきたいと考えています。

みなと銀行　龍野支店 支店長
髙岸 遼太
（元 統合推進室※グループリーダー）

※みなと銀行のシステムリニューアル（事務・システム統合）を円滑に進めるために設けられた、プロジェクトの推進管理を統括する部署（システムリニューアル完了後に廃止）

『リテールNo.1』の実現に向けて

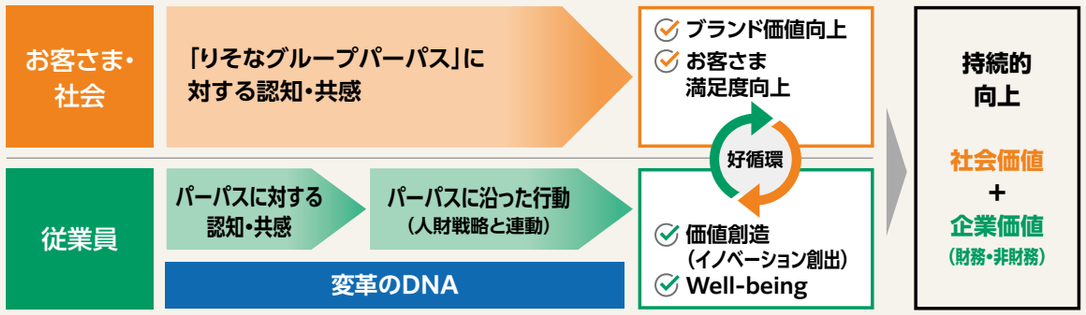
りそなグループパーパス

金融＋で、
未来をプラスに。
RESONA GROUP

2023年5月、りそなグループパーパス「金融+で、未来をプラスに。」を制定しました。多様化・高度化するお客さま・社会のニーズに寄り添い、金融の枠にとどまらない発想で未来をプラスに変えていきたいという強い想いが込められています。

パーパス
コンセプト
ムービー

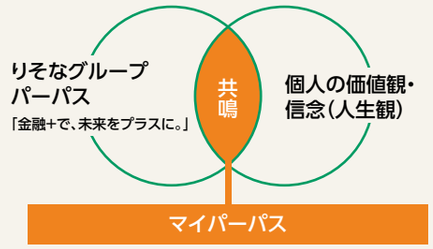
パーパスの浸透を通じて、社会価値・企業価値の向上を目指す



3万人のマイパーパスプロジェクト

りそなグループでは、全従業員が「マイパーパス」を持つためのワークショップを実施しています。パーパスと従業員の「個人の価値観・信念（人生観）」を共鳴させて、従業員のパーパス実践を促進し、社会価値・企業価値の向上につなげていきます。

ワークショップの様子



「りそなグループの一員として社会にどのように貢献したいのか」

マイパーパス

マイパーパス

“可能性に満ちた未来を、共に創る”

人生の転機は兄からの助言

複雑な家庭環境だったこともあり、学生時代はバスケ部に所属していましたが、途中で退部。大学に進学することも諦めていました。そんなとき、進学することで将来の選択肢が増えること、進学するために奨学金制度など様々な方法があることを兄から聞きました。自分にも大学に行くことができる可能性があることを知り、進学する道を選択。今の人生に繋げることができました。

関わる人のより良い未来を切り開くお手伝いがしたい

学生時代の経験から、「諦めず、確かな情報をもとに行動を起こすことで未来の可能性を広げられる」ということを学びました。自分が関わることで、目の前の人の（お客さまの）未来の可能性を広げられるような、信頼できる相談相手・情報提供者になりたいと考えています。

お客さまが必要とする情報をしっかりお伝えしたい

私は現在、営業店の個人営業を担当しています。資産運用や相続に関することなど、多岐に渡るこまりごとに接する中で、お客さま一人ひとりの状況に合わせた最適な情報をお伝えすることで、お客さまやそのご家族の可能性に満ちた未来に貢献していきたいと考えています。

りそな銀行 箕面支店　**冨山 千絵美**

マイパーパス

“あなたと築く 互いのキズナ
あなたと照らす 地域のミライ”

入社を志したのは父への想いから

学生時代、父が経営する酒屋の手伝いをしていました。営業・商品の受発注・経理全般など、家庭では見えていなかった父の経営者の一面を知りました。そんな父を頼もしいと思う一方、弱音を話せる相手がいないのではないかと心配でした。そんな経験から、父のような中小企業の経営者を少しでも支えたいと考えるようになり、埼玉りそな銀行に入社しました。

埼玉りそな銀行 埼玉西地域本部　**長谷川 諒**

キズナの力で、地元埼玉の発展に貢献したい

仕事を通じて様々な方と関わる中で、自分一人では「1」にしかならないことでも、相手がいることで「無限」の可能性が生まれるということを知りました。マイパーパスにある「あなた」はお客さまでもあり、共に働くりそなグループの仲間でもあり、これから出会う地域の方々でもあります。多くの方々と「キズナ」を築き、地元埼玉の発展に貢献したいと考えています。

自身がハブとなることで新たな価値創造につなげたい

現在は地域本部の一員として、営業店を通じて得られるお客さまの課題や情報を社内外で連携・共有し、お客さまが抱える課題の解決策や事業発展の提案を行っています。自身がハブとなり、多くの「キズナ」を築くことで新たな価値を生み出し、これからも地域の未来をプラスにしていきたいと考えています。

TOPIC 1

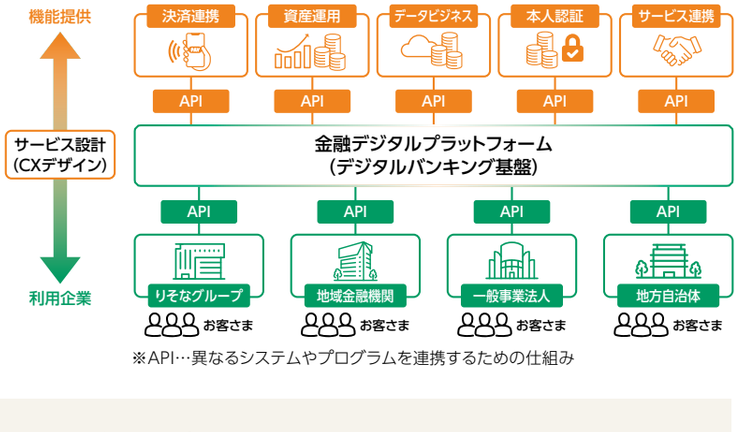
りそなグループの機能・サービスで、日本全国のお客さまの未来をプラスに!

りそなグループは、異業種を含めた様々な企業が利用できる金融デジタルプラットフォームのご提供を通じて、あらゆる地域のお客さまの利便性向上、地域経済の活性化に貢献し、持続可能な社会の構築を目指しています。

「金融デジタルプラットフォーム」

利用企業と機能提供者をつなぐオープンな設計がなされたプラットフォームです。
多様な参加者によるオープン・イノベーション※の実現を目指しています。

※企業が自社の資源だけでなく、外部の知識や技術を積極的に活用することで、新たな価値を創造する手法



※API…異なるシステムやプログラムを連携するための仕組み

FinBASE 代表取締役社長
新槇 祐輔

※FinBASE…
りそなホールディングスの
連結子会社(2022年4月設立)

りそなグループの新たな収益の柱となることを目指す

▶FinBASEの役割は?

「金融デジタルプラットフォーム」を通じて、りそなグループが有するデジタル金融機能を地域金融機関等に提供する事業を行っています。他社との協業を通じて、金融デジタルサービスのオープン・イノベーションを促進していきたいと考えています。

▶この事業のりそなグループにおける位置づけは?

りそなホールディングスの中期経営計画において掲げている「価値創造力の強化」に向けた取り組みの一環として、りそなグループの新たな収益の源泉を生み出すことを目的とし、DX分野の中核事業の一つへと成長させていきたいと考えています。

提供機能①｜バンキングアプリ

優れたUI※1/UX※2を活かしたりそなのアプリをより多くの方に使って欲しい

▶地域金融機関のメリットは?

りそなグループが先駆的に提供してきた簡単・便利なバンキングアプリを、構築済みの共通基盤を活用して開発コストを抑えつつ、短期間で導入することができます。また、りそなが積み上げてきた開発やマーケティングにかかるノウハウ共有により、地域のお客さまへのサービス提供価値を早期に高めていくことが可能となります。

提供先
常陽銀行(茨城県)
足利銀行(栃木県)
百十四銀行(香川県)
十六銀行(岐阜県)
京葉銀行(千葉県)

※1 ユーザーインターフェースの略で、利用者と製品やサービスの接点。
※2 ユーザーエクスペリエンスの略で、利用者が一つの製品やサービスから得られる体験。

提供機能②｜銀行業務支援ツール「Data Ignition」

データサイエンスやAIでりそなグループが提供できる価値を高めたい

**りそなホールディングスと㈱ブレインパッドは、AIを活用した銀行業務支援ツール「Data Ignition」を共同で開発し、他金融機関へ提供しています。
このツールは「FDUAアワード2025 データ活用賞」を受賞しました。**

FDUA AWARD 2025 DATA UTILIZATION

りそなホールディングス
データサイエンス部
佐野 春樹

▶Data Ignitionとは?

金融機関が持つお客さまに関するデータをAIに読み込ませるだけで、住宅ローンや積立投資信託といった金融商品に対するお客さまのニーズをスコア化して予測することができます。これにより、ニーズの高いお客さまへ優先的にアプローチすることなどが可能となります。

▶Data Ignitionの魅力とは ?

Data Ignitionはりそなグループの実務で活用効果があったAIをソフトウェアに搭載しています。予測精度が高く、ユーザーとなる金融機関が独自で開発する必要もないため、簡単に業務効率化が実現できます。また、本ツールは静岡銀行で導入いただいております。

▶ツール開発に込めた想いは?

データサイエンスやAIにより、りそなグループがこれまで提供してきた商品・サービスの価値をさらに高めたいという想いがありました。そして、その価値を他金融機関と共有することで、より多くの方の人生をプラスにできればと考えています。

「Data Ignition」利用イメージ

①ファイルアップロード ▶ ②AI解析 ▶ ③業務に活用

業務用
ファイルを
アップロード

りそなグループにて
開発したAIモデルを
使って解析
(分析の知識は不要)

アウトプット
ファイル取得後、
すぐに業務に
活用可能

提供機能③｜ファンドラップ

より多くのお客さまの安定した資産形成の実現に貢献したい

りそな銀行が運用を行うファンドラップは、2017年の取扱開始後、グループ内銀行だけでなくグループ外の地域金融機関も通じて多くのお客さまにご利用いただいています。

▶りそな銀行のファンドラップの魅力は?

りそな銀行は60年にわたる年金運用で培った長期分散投資のノウハウを活かし、お客さまの中長期の資産運用ニーズにお応えしています。こうした実績が評価され、グループ外の地域金融機関も含めたファンドラップ残高は7,800億円※を超えています。※2025年3月末時点

▶地域金融機関がりそな銀行のファンドラップを選ぶ理由は?

ファンドラップは証券会社や信託銀行もサービス提供していますが、りそな銀行は商業銀行として地域金融機関の悩みに寄り添いながら、信託機能を活用してお客さまに最適なサービスを提供できる点が評価されていると感じています。

▶ファンドラップの提供を通じて実現したいことは?

私は学生時代から野球を続けているのですが、その経験を通じてチームで取り組むことの大切さと可能性を大事にしています。ファンドラップは地域金融機関を含めた現場の皆さまと一緒に作り上げ、お客さまの声で日々進化をしていきます。今後も、チーム一丸となって、より多くのお客さまの安定した資産形成の実現に貢献していきます。

りそな銀行 信託年金サポート部
並木 哲雄

提供先
横浜銀行(神奈川県)
京葉銀行(千葉県)
七十七銀行(宮城県)
十六銀行(岐阜県)

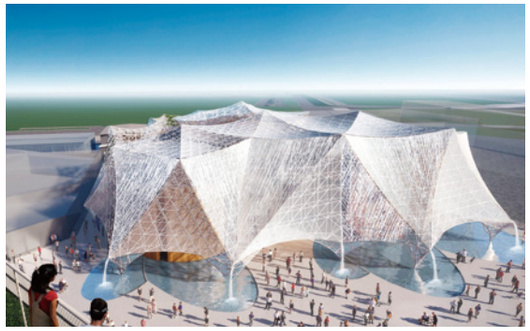
TOPIC 2

万博で中小・スタートアップ企業の技術を発信し、未来にワクワクをプラス!

大阪・関西万博
EXPO 2025

2025.4/13 SUN. - 2025.10/13 MON.

りそなグループは大阪ヘルスケアパビリオン内の中小・スタートアップ企業の未来の技術を発信する企画「リボーンチャレンジ」において、展示・出展ゾーンをプロデュースし、38企画の技術・製品を展示しています。



提供:(公社)大阪パビリオン　協力:2025年日本国際博覧会協会

Resona Mirai Color

特設ページ

色と色が混ざり合えば新しい色が生まれるように、中小・スタートアップ企業の技術やアイデアにより、「企業」と「来場者」、「未来」と「技術」、「世界」と「日本」など様々な要素が想像を越えたつながりを持つことで、多様で新しい、ワクワクする未来への提案を行います。

テーマ **FOUR SEASONS**

地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地の叡智が集まる場が『万博』です。りそなグループでは、大阪ヘルスケアパビリオンにおいて四季になぞらえた4つのテーマに分けた合計38展示43社の展示企画をサポートしています。
りそなグループの展示ゾーンでは、来場者が社会課題の解決と明るいミライのビジョンを体感できる場となることを目指しています。

Resona Mirai Color〜春〜
ミライの医療
開催期間
2025.4/13SUN. - 2025.4/20SUN.

Miraiの医療・健康のDXでQOLを向上しよう!
医療・健康分野の技術の進歩と変革を実感いただき、輝かしいミライを共有したい

Resona Mirai Color〜夏〜
ミライのメトロポリス
開催期間
2025.4/21MON. - 2025.4/28MON.

Miraiのメトロポリスを体感しよう!
環境・エネルギーに意識を高め、美しい地球を後世に受け継ぐ

Resona Mirai Color〜秋〜
ミライと和の調和
開催期間
2025.9/2TUE. - 2025.9/8MON.

MiraiのJapan cultureが生活を変える!
日本の伝統文化・芸術が最新のテクノロジーと融和した空間を感じていただく

Resona Mirai Color〜冬〜
ミライのテクノロジー
開催期間
2025.9/9TUE. - 2025.9/15MON.

Miraiのテクノロジーを体感しよう!
最新テクノロジーに触れることで産業を支えるモノづくりや豊かな生活を支えるサービスの力強さを感じていただく

※本冊子発行時点で、春・夏をテーマとした展示は既に終了しています。

VOICE

万博を通じて、人や社会に「前向き」な変化をプラスしたい

りそな銀行 法人・プレミア戦略部
ビジネスプラザおおさか
楠元 大成

▶「Resona Mirai Color」に込めた想いは?
中小・スタートアップ企業の皆さまは、万博を通じて自社の技術を発信したいという強い想いを持ちながらも、個別に出展するには高いハードルがあると感じていらっしゃいました。
そこで、中小・スタートアップ企業の皆さまが有する技術を発信できる場をつくりたいと考え、今回の展示を企画しました。万博での発信が出展企業の皆さまにとってレガシーとなり、少しでも今後の成長に寄与するものになればと考えています。

▶来場者の反応は?
ビジネスパーソンや学生、インバウンドの方など幅広い層の方にご来場いただいています。ビジネスパーソンの方は出展企業の方と新しいビジネスに発展するようなお話をされていますし、学生たちが見たことのない技術に驚き、出展企業の方に質問している場面も多く見られます。出展企業の方からは「来場者との交流が楽しく、普段の商談とは異なる刺激がある」とのお声がありました。

▶本展示を通じてどのような未来をつくりたいか?
私は学生時代に取り組んだ野球の経験を通じて、「前向き」な気持ちの時の方が物事は上手くいくという価値観を持つようになりました。今回の展示を通じて、出展企業さまの情熱が来場者の皆さまに波及し、未来への期待感がプラスされていると感じています。人や社会がより「前向き」になれる未来をつくることに少しでも貢献できればと考えています。

お客さまや自治体と共に、ワクワクする未来をつくっていきたい

関西みらい銀行
経営企画部 地域戦略室
青山 篤史

▶出展企業はどのように募集した?
一社でも多く、熱い想いをお持ちの企業さまに出展していただきたいと考え、大阪にゆかりのある企業を日本全国から広く公募しました。自社の商品やサービスを通じて社会をより良くしたい、ワクワクするような新しい未来をつくりたいという想いを持ち、そのために取り組んでいる企業さまにご出展いただきました。

▶万博終了後は出展企業とどのように関わっていく?
出展企業の皆さまとの対話の中で、変化の激しい時代の中でも新しいことに挑戦していきたいという想いを感じました。りそなグループの金融にとどまらないソリューションにより、こうした出展企業の皆さまの想いに寄り添い、万博終了後も伴走していきたいと考えています。

▶今後、関西の未来のために何をしていく?
私はこれまで、地域の自治体と連携する業務に多く携わってきました。今後は、今回の万博を通じて新たに得られた知識や経験、ネットワークも活かしながら、これまで以上に地域連携の輪を広げていきたいと考えています。そのために、関西みらい銀行が自治体とより深く連携し、新たな価値を生み出すサポートをしていきたいと考えています。

りそなグループの業績 2025年3月期

親会社株主に帰属する当期純利益は、
2,133億円となりました。

資金利益とフィー収益の「双発」により業務粗利益が拡大するなか、政策保有株式の売却が進展したこと、与信費用が低位に推移したことなどにより、2018年3月期以来、7期振りに2,000億円を超える水準となりました。

●損益の状況 (りそなホールディングス連結)

(単位:億円)

	2024年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前期比 (B)−(A)
業務粗利益	6,274	**6,916**	**+641**
資金利益※a	4,216	**4,804**	**+587**
うち国内預貸金利益※1	3,321	**3,499**	**+177**
うち円債利息等※2	309	**371**	**+61**
フィー収益	2,135	**2,279**	**+144**
信託報酬	254	**256**	**+2**
役務取引等利益※b	1,881	**2,023**	**+142**
その他業務粗利益	△77	**△168**	**△90**
経費(除く銀行臨時処理分)	△4,165	**△4,441**	**△275**
実質業務純益※c	2,113	**2,479**	**+365**
コア業務純益(除く投資信託解約損益)※d	2,384	**2,885**	**+501**
株式等関係損益(先物込)	601	**871**	**+269**
与信費用※e	△356	**△115**	**+240**
その他損益等	△129	**△295**	**△166**
税金等調整前当期純利益	2,230	**2,939**	**+709**
法人税等合計	△646	**△791**	**△144**
非支配株主に帰属する当期純利益	6	**△14**	**△20**
親会社株主に帰属する当期純利益	1,589	**2,133**	**+543**

金利ある世界への回帰が進むなか、大幅な増益となりました。国内預貸金利益は、貸出金残高の増加と利回り改善により、17期振りに増益に転じています。

4期連続で過去最高益を更新しました。

人財・IT投資の拡充により増加しましたが、経費率※fは改善しています。

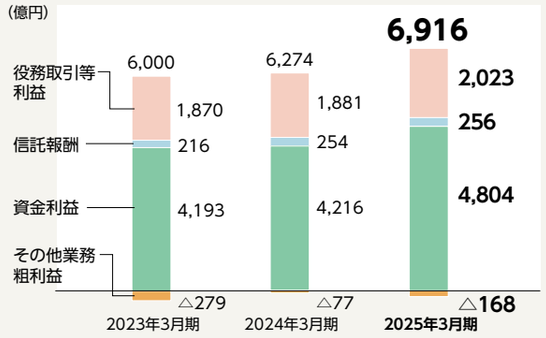
政策保有株式の売却進展により増加しました。

年間計画に対する費消率は、28.9%と低位にとどまりました。

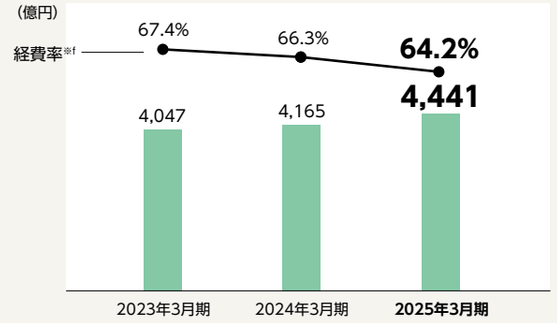
※1 銀行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む)　※2 円債利息・金利スワップ収益

用語解説
- ※a 資金利益 …… 貸出や有価証券運用などによる資金運用収益から、預金利息などの資金調達費用を差し引いた収支のことです。
- ※b 役務取引等利益 …… 投資信託の販売やお振込み、不動産仲介など、サービス提供の対価としてお客さまからいただく手数料収入のことです。
- ※c 実質業務純益 …… 業務粗利益(除く信託勘定不良債権処理額)から、経費(除く銀行臨時処理分)を引くなどしたものです。
- ※d コア業務純益(除く投資信託解約損益) …… 実質業務純益から投資信託解約損益と債券関係損益(現物)を引いたものです。
- ※e 与信費用 …… 貸出金等に対する貸倒引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。貸倒引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。
- ※f 経費率 …… 業務粗利益に占める経費(除く銀行臨時処理分)の比率のことです。効率性を示す指標の一つで、比率が低いほど効率的であることを示します。

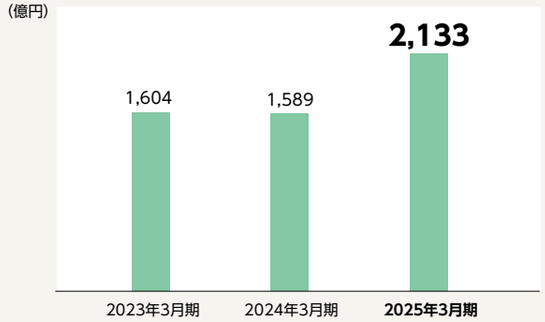
●業務粗利益



●経費(除く銀行臨時処理分)

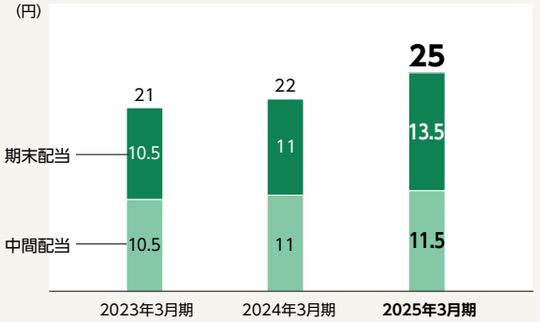


●親会社株主に帰属する当期純利益



●普通株式1株当たり配当金

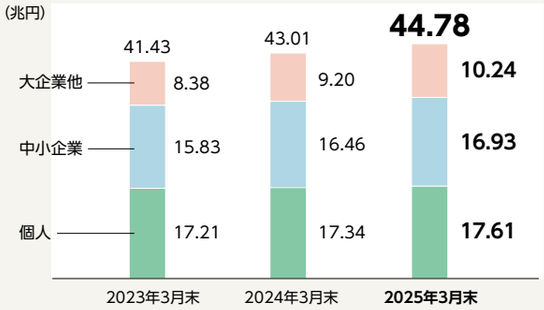
2025年3月期は、普通株式1株あたりの年間配当を3円増配の25円としました。



貸出金・預金の状況

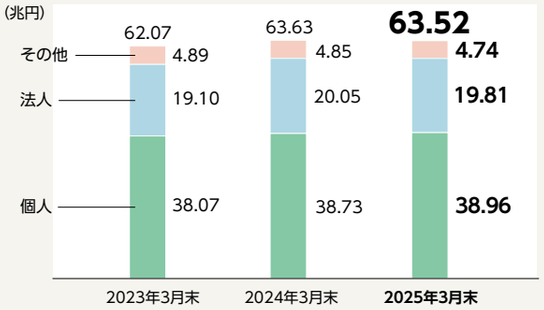
●貸出金残高 (グループ銀行合算)

前期末比4.1%の増加となりました。



●預金残高 (グループ銀行合算)

安定した預金基盤を維持しています。



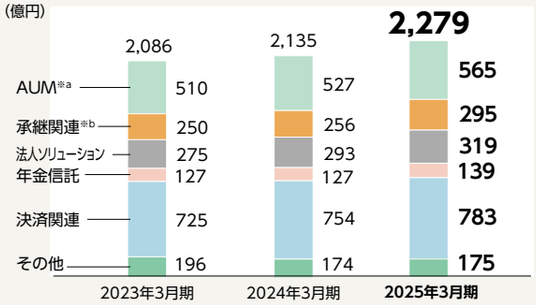
2025年3月期
りそなグループの業績

りそなグループの業績の詳細内容につきましては、
ホームページをご覧ください。 りそな 財務 検索
https://www.resona-gr.co.jp/holdings/investors/ir/

フィービジネスの状況

●フィー収益（りそなホールディングス連結）

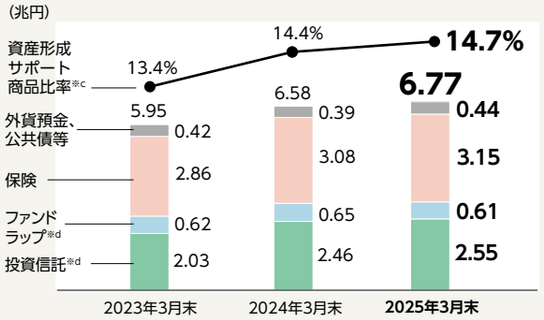
承継関連、AUM、決済関連等が牽引し、
4期連続で過去最高益を更新しました。



※a 保険、投信(販売手数料・信託報酬)、ファンドラップ、証券信託、りそなアセットマネジメントの役務利益
※b 承継信託、不動産、M&A

●個人向け資産形成サポート商品残高（りそなホールディングス連結）

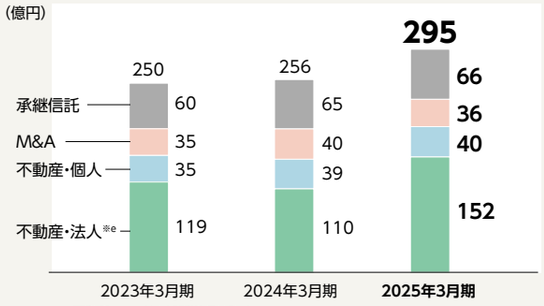
「貯蓄から投資」への流れが加速するなか、
投資信託を中心に増加しました。



※c 個人向け資産形成サポート商品残高／（個人向け資産形成サポート商品残高+個人預金（円貨））
※d 時価ベース残高

●承継関連収益（りそなホールディングス連結）

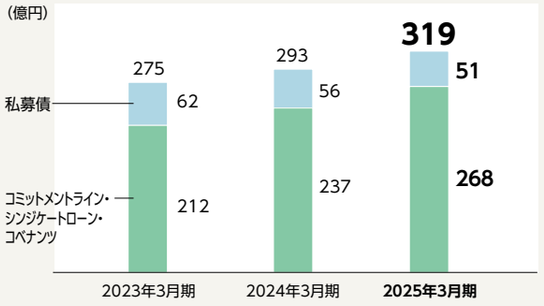
不動産収益が大きく増加しました。



※e 不動産ファンド出資関連収益除く

●法人ソリューション収益（グループ銀行合算）

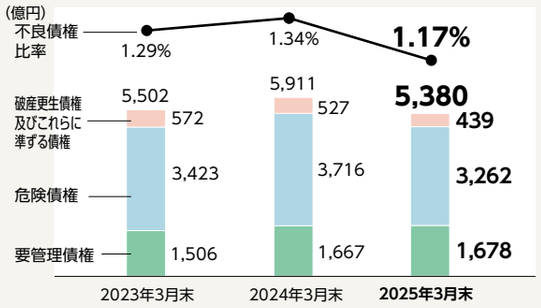
法人のお客さまに向けた貸出金が増加するなか、
増益となりました。



財務健全性指標の推移

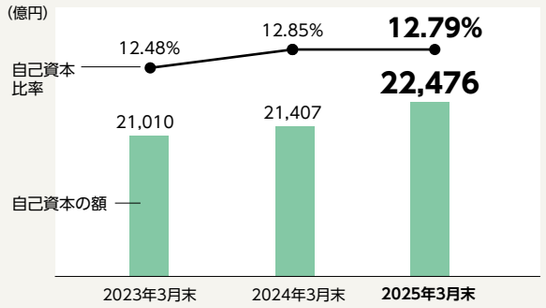
●不良債権残高・比率（グループ銀行合算・金融再生法基準）

不良債権比率は1.17%と、
引き続き健全な水準を維持しています。



●自己資本比率（りそなホールディングス連結）

自己資本比率（国内基準）は12.79%と、引き続き、
健全な水準を維持しています。



グループ銀行の概況／株主メモ

りそな銀行

●損益の推移（単体）

（単位:億円）

	2024年3月期	2025年3月期
業務粗利益	3,268	3,678
経費	△2,120	△2,290
実質業務純益	1,147	1,388
与信費用	△199	△70
当期純利益	959	1,323

●貸出金・預金の推移（単体）

（単位:億円）

	2024年3月末	2025年3月末
貸出金	238,607	255,720
預金	350,966	343,087

●自己資本比率の推移（連結・国内基準）

（単位:%）

	2024年3月末	2025年3月末
自己資本比率	12.40	12.11

埼玉りそな銀行

●損益の推移（単体）

（単位:億円）

	2024年3月期	2025年3月期
業務粗利益	1,088	1,243
経費	△760	△801
実質業務純益	328	442
与信費用	△37	△18
当期純利益	277	355

●貸出金・預金の推移（単体）

（単位:億円）

	2024年3月末	2025年3月末
貸出金	89,788	87,519
預金	173,762	177,438

●自己資本比率の推移（連結・国内基準）

（単位:%）

	2024年3月末	2025年3月末
自己資本比率	16.55	15.56

関西みらい銀行

●損益の推移（単体）

（単位:億円）

	2024年3月期	2025年3月期
業務粗利益	896	862
経費	△643	△633
実質業務純益	253	228
与信費用	△43	△1
当期純利益	153	196

●貸出金・預金の推移（単体）

（単位:億円）

	2024年3月末	2025年3月末
貸出金	70,204	71,927
預金	72,978	76,050

●自己資本比率の推移（連結・国内基準）

（単位:%）

	2024年3月末	2025年3月末
自己資本比率	12.71	12.58

みなと銀行

●損益の推移（単体）

（単位:億円）

	2024年3月期	2025年3月期
業務粗利益	418	440
経費	△323	△343
実質業務純益	94	97
与信費用	△16	△11
当期純利益	46	73

●貸出金・預金の推移（単体）

（単位:億円）

	2024年3月末	2025年3月末
貸出金	31,514	32,717
預金	38,636	38,673

●自己資本比率の推移（連結・国内基準）

（単位:%）

	2024年3月末	2025年3月末
自己資本比率	10.32	10.61

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
配当金の基準日	毎年3月31日（中間配当実施の場合は9月30日）
公告方法	電子公告（当社Webサイト）https://www.resona-gr.co.jp/holdings/other/koukoku/ ※やむを得ない事由により電子公告できない場合は日本経済新聞に掲載
単元株式数	100株

お手続き・ご照会の内容		お問い合わせ先	
・郵便物の発送と返戻 ・支払期間経過後の配当金 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ		株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
		郵便物の送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号　三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
		電話番号	**0120-782-031**（9:00～17:00 土・日・休日を除く）
		Webサイト	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上記以外のお手続き、ご照会など **（住所変更・相続等）**	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社	口座を開設されている証券会社にお問い合わせください
	特別口座の場合（証券会社に口座をお持ちでない場合）	特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
		郵便物の送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号　三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
		電話番号	**0120-782-031**（9:00～17:00 土・日・休日を除く）

株主さまアンケート実施のご案内

りそなホールディングスの株主さまを対象に、Webアンケートを実施いたします。りそなグループの取り組みなどについて、皆さまのご意見ご要望をお寄せください。
ご回答いただいた株主さまの中から、抽選で1,000名さまにクオ・カード（500円分）をプレゼントいたします。

※イメージ

受付期間 ： 2025年6月9日(月)～7月10日(木)
受付方法 ： 以下Webサイトに掲載のアンケートフォームにご入力のうえご送信ください。
https://www.resona-gr.co.jp/kabu/

株主さまの個人情報のお取扱いについて

株式会社りそなホールディングス（以下、「当社」といいます）は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報（氏名・住所・保有株式数等）を利用させていただいております。
当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

1 株主さまの個人情報の利用目的について

当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。

(1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
(2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社（下記2.(1)に記載の会社、以下同様）から各種便宜を供与するため
(3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する（当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む）ため
(4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

2 株主さまの個人情報の共同利用について

当社は、下記のとおり、上記1. 記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第27条第5項第3号に基づく個人データの共同利用を行っております。なお、株主さまからの停止のご要請があった場合、以後の共同利用を停止いたしますので、停止をご希望される場合は、下記3. 記載のご連絡先までご連絡ください。

(1) 共同利用者の範囲
- 株式会社りそなホールディングス（当社）
- 株式会社りそな銀行
- 株式会社埼玉りそな銀行
- 株式会社関西みらい銀行
- 株式会社みなと銀行

(2) 共同利用する個人データの項目
- 氏名・住所
- 保有株式数
- 株主番号および登録時期に関する情報

(3) 共同利用者の利用目的
- 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社から各種便宜を供与するため
- 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する（当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む）ため

(4) 個人データの管理責任者の名称・住所・代表者氏名
- 名称　株式会社りそなホールディングス(当社)
- 住所　東京都江東区木場一丁目5番65号
- 代表者氏名　南 昌宏

3 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

電話番号　東京 03-6704-3111（代表）
大阪 06-6268-7400（代表）
受付時間　9：00～17：00（銀行休業日を除く）

株主さまから過去に個人情報の提供の停止をご希望される旨のご連絡をいただいた場合には、当社はご連絡をいただいた株主さまの個人情報を共同利用者に対して提供することはありませんので、再度ご連絡をいただく必要はございません。

名　称　株式会社りそなホールディングス　証券コード　8308
（英文名称　Resona Holdings, Inc.）

所在地
東京本社　〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号 電話(03)6704-3111(代表)
大阪本社　〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号 電話(06)6268-7400(代表)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
りそなグループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C014969
VEGETABLE OIL INK
この報告書は、環境に配慮した用紙・インキを使用しています。